

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|-----------|---|------------------|
| 10 | 小池 智明（18） | <p>1. ESCO事業を活用した防犯灯一斉LED化への取り組みについて</p> <p>市内には、町内会・区が設置・管理する防犯灯が、現在約1万9600灯存在する。</p> <p>防犯灯は、市民の安全及び犯罪の防止を図る上で、大きな役割を果たしている。</p> <p>市では、富士市生活安全条例に基づき、防犯灯を設置・管理する町内会・区に設置費補助金、維持管理費補助金を交付しているが、平成24年度から、電気料金が安価で環境への負荷も少ないLED防犯灯に対する補助を開始している。</p> <p>従来の蛍光灯に比べLED防犯灯は、電気料金が安だけでなく、明るく、寿命が長いため、維持管理を行う町内会や役員の負担も減ることが期待されるが、現在の補助金制度では全ての切りかえまでには相当の年数を要すると考えられる。</p> <p>一方本年度、エネルギー消費量の多い中央病院において、民間活力を用いて省エネルギー改修を行うESCO事業に取り組む予定とされているが、防犯灯LED化にも民間企業のノウハウ、資金、技術力、スピードを活用したESCO事業を導入し、市内の防犯灯を一斉にLED化すべきではと考える。</p> <p>こうした観点から以下質問する。</p> <p>(1) 現在の補助金制度で防犯灯をLEDに切りかえていった場合のスケジュールと市及び町内会・区の財政負担は、どのように見込んでいるか。</p> <p>(2) 防犯灯を市に移管した上で、新たな財政負担を伴わないESCO事業を活用した防犯灯一斉LED化への取り組みを進めるべきと考えるがいかがか。</p> <p>2. 民間活力を導入した「攻めのFM（ファシリティマネジメント）」への取り組みについて</p> <p>昭和40年代から50年代にかけて建設された公共施設が老朽化し、今後一斉に更新・大規模修繕の時期を迎える一方、人口減少・高齢化が進む中で、効率的かつ効果的な維持修繕の実施による長寿命化や建築物保有量の計画的な削減など、保有する公共施設を資産として最適に維持管理し、有効活用を図るとして、富士市でも公共施設マネジメントいわゆるファシリティマネジメント（以下、FMという）に取り組み始めたところである。</p> <p>昨年4月に策定された富士市公共施設マネジメント基本方針では、目標設定した一般公共建築物の延床面積20%削減がクローズアップされ、FMはいかに減らすかイコール統合、廃止するかのイメージが先行している感が強い。</p> <p>しかし本来FMは、保有する公共施設を資産として最適に維持管理し、有効活用を図ることである。</p> <p>例えば、この二、三年で取り組み始めた公共下水道の終末</p> | 市長 及び 担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|-----------|--|------------------|
| 10 | 小池 智明（18） | <p>処理場屋根貸し太陽光発電事業は、その好例と言えよう。</p> <p>①終末処理場の屋根を太陽光発電事業者に貸し出すことにより市は収入を得る、②太陽光発電により地球規模での課題である再生可能エネルギーの利用促進に寄与する、③災害時の非常用電源として市民サービスの向上に寄与する等、民間活力を導入することにより、既存施設を生かし、新たな財政負担を伴わず、歳入確保、市民サービスの向上につなげている。</p> <p>統合、廃止等のイメージが先行するFMを「守りのFM」とするなら、有効活用を前面に打ち出したFMは「攻めのFM」と言えよう。</p> <p>そして今後は、こうした「攻めのFM」もあわせて取り組んでいくことが、より必要であると考えます。</p> <p>そうした観点から以下質問する。</p> <p>(1) 吉原市民ひろば活用・南町公園整備事業の進捗状況はいかがか。</p> <p>(2) 官公庁ネットオークション（市が所有する事務機器や公用車、公有不動産等の公有財産、市が税金滞納者から差し押さえた不動産、自動車、服飾装身具、美術品等の差し押え品を出品・落札するインターネット上のオークション）の活用状況はいかがか。</p> <p>(3) 公共施設敷地へのコンビニ誘致に取り組む考えはないか。</p> <p>① 博物館が富士山かぐや姫ミュージアムとしてリニューアルオープンし市内外からの来訪が期待される広見公園。</p> <p>② ロゼシアターと相まって普段から利用客が多い中央公園。</p> <p>③ それ以外にも可能性・妥当性がある公共施設敷地。</p> <p>(4) 現在は担当部署ごとばらばらに所管・発注している庁舎、まちづくりセンター、学校、福祉施設等における建物、電気、空調、エレベーター等の保守管理・点検業務を一括して発注する公共施設の包括施設管理業務委託に取り組む考えはないか。</p> <p>(5) テーマ（対象施設・事業概要など）を定めず、民間事業者から「富士市のファシリティ（公共施設・土地）を活用する」、「新たな財政負担が生じない」という条件で、行政では思いつかない、民間ならではのノウハウを活用した自由な提案を公募し、条件が整った場合には事業化するFM施策の事業者提案制度に取り組む考えはないか。</p> <p>(6) 富士市として「攻めのFM」に関する基本姿勢、取り組み体制はどのように考えるか。</p> | 市長 及び 担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|----------|---|------------------|
| 11 | 井上 保（17） | <p>1. 財産区の統合に関する取り組みの進捗状況と見通しについて</p> <p>今年度予算の特徴として、市有土地等売り払い収入を公共建築物保全基金に積み立てる事業を予算化するなど資産の見直しによる財政健全化に向けた積極性が挙げられる。</p> <p>資産の見直しは全市的にあまねく、偏ることなく進められることが求められる。</p> <p>私は昨年6月に、富士市における財産区についての一般質問をした。</p> <p>その際、市長より財産区について、最終的には市への統合が望ましいと考えている、財産区の合意が必要であるので財産区管理会と統合に向けた協議を順次進めるとの答弁があった。</p> <p>具体的に進捗が図られることを期待し、改めて富士市における財産区の統合に関する取り組みについて、その進捗状況と見通しについて伺う。</p> <p>(1) 当局の財産区についての現状認識と評価を伺う。</p> <p>① 平成22年度から特別会計が設置され会計処理が行われてきた。この内容をどう評価するか。</p> <p>② 財産区財産の保全状況をどのように把握されているか。</p> <p>③ 財産区運営の基本にある住民福祉の増進、市の一体性を損なわないの原則を富士市において具体的にどのような指標をもって評価し、これまでの実績と現状の課題をどのように認識しているか。</p> <p>(2) 各財産区の今後のあり方について当局の考えを伺う。</p> <p>財産区の役割である財産の保存、利用、改良のため、財産区住民の福祉の増進のため、また防災面・環境面の役割のため、各財産区の今後のあり方をどのように考えているか。</p> <p>財産区ごと「現状のまま」、「市への統合」など、どのようなあり方が適切と考えているか。</p> <p>(3) 各財産区との協議の進捗状況と見通しについて伺う。</p> <p>① 協議の経過または今後の予定について</p> <p>② 協議に臨む当局側の体制はどのように考えているか。</p> <p>③ 協議に当たっての課題、争点となることは何と考えているか。また、それへの対応をどのように考えるか。</p> | 市長 及び 担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|----------|---|-------------------------|
| 12 | 笹川 朝子（3） | <p>1. 学校のトイレ及び公共施設のトイレの改善について</p> <p>この問題は2月議会でも質問しましたが、再度深めていくという観点から、今回取り上げるものです。</p> <p>学校は、子どもたちが学び、遊び、食べ、排せつするという学習の場であるとともに生活の場でもあります。</p> <p>言うまでもなく、学校のトイレは子どもたちが1日に何回も必ず使う場所です。育ち盛りの子どもの健康を支える役割を持っています。ところが、学校のトイレに行きたくないという子どもたちの声を聞きます。トイレに行けない症候群が問題になっています。和式だから、臭い・汚いからなどが理由とされていますが、改修が進まないトイレを嫌い、使えずにいるという問題があります。</p> <p>市内の小・中学校の洋式化率は、平均で32.9%（13.8%～82.8%）です。多くの学校が、トイレの3K（臭い・汚い・暗い）または5K（臭い・汚い・暗い・怖い・壊れている）に悩んでいます。</p> <p>また、学校で大便をすると茶化されたり、いじめの対象になったりということもあり、トイレに行くことを我慢している状況があります。</p> <p>学校のトイレの問題は、物理的・心理的な要因と掃除を含めたメンテナンスの要因があると思います。</p> <p>今、家庭のトイレはほとんどが洋式便器で、温水洗浄便座です。商業施設などのトイレは最新鋭の機器が入り、きれいで明るく趣向を凝らしたものに進化しています。学校のトイレとのギャップが非常に大きいのが現状です。</p> <p>富士市は、学校の耐震化が終了したので、今年度から5年間かけてトイレの洋式化率45%を目標に、とりあえず今年度は30%にするととして、1800万円（小・中学校で90器分）の予算を計上しました。</p> <p>洋式化の取り組みについては大いに評価するものですが、現在の3K・5Kトイレを改善することができるのでしょうか。</p> <p>学校のトイレは、子どもたちが必ず使う場所です。同時に、ほとんどの学校が地域のコミュニティの核であり、避難場所に指定されています。</p> <p>トイレ整備を進めることは、日常の教育現場の切実なニーズに応えると同時に、災害に対する備えでもあります。</p> <p>2011年3月に発生した東日本大震災を通じて、地域社会における学校のトイレの役割も認識されました。</p> <p>地震発生時、多くの地域住民が学校に避難し、通常の何倍もの老若男女が学校のトイレを利用しました。足腰が悪くて和式を使えない高齢者の中には、トイレに行くたび、ボランティアにトイレの中で支えてもらうことをためらうあまり、水分をとらなくなる人もいたと聞きます。屋外の仮設トイレは寒さの問題はもちろん、夜間は防犯の点からも、女性や子</p> | 市長 及び 教育長 担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席） | 発 言 の 要 旨 | 答 弁 者 |
|-----|----------|---|-------------------------|
| 1 2 | 笹川 朝子（3） | <p>どもたちは不便だったといいます。今回の熊本地震でも同じ状況がありました。</p> <p>子どもたちや地域住民が安心して使えるトイレづくりを進めていくことは急務ではないでしょうか。</p> <p>また、多くの市民が利用する公共施設のトイレも、和式便器のところが多くあります。高齢者や下肢に支障のある人は、和式便器は使えません。</p> <p>まちづくりセンターも地域の拠点ですし、行事の計画もたくさんあります。</p> <p>公共施設のトイレも現状を把握して、洋式化とともに快適なトイレ環境にしていくべきではないでしょうか。</p> <p>以下、質問いたします。</p> <p>(1) 学校のトイレの現状をどう把握しているか。</p> <p>(2) 今年度から5カ年計画で洋式化率45%にする計画の内容について</p> <p>(3) トイレ教育の考えと実施状況について</p> <p>(4) 子どもたちへのアンケートの実施について</p> <p>(5) 文部科学省は2014年1月に、学校施設長寿命化改修の手引を公表しました。今後、学校トイレの改修にどう生かしていくのか。</p> <p>(6) 公共施設のトイレの現状をどう把握しているか。</p> <p>(7) 公共施設のトイレの洋式化の取り組みについて</p> | 市長 及び 教育長 担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|----------|---|------------------|
| 13 | 小池 義治（4） | <p>1. 富士川河口断層帯の調査状況について</p> <p>ことし4月に甚大な被害が発生した平成28年熊本地震は、日奈久断層帯及び布田川断層帯という2つの断層帯が動いたものとされる。日本には2000以上の活断層があり、全国のどこでも大きな地震が起こる可能性があるが、本市域においては、富士山の南西山麓から富士川河口付近にかけて南北に延びる富士川河口断層帯の存在が知られており、数ある断層帯の中でも地震発生確率が高いグループに属するとの指摘もある。本市及び静岡県の地震防災対策は、プレート境界型である東海地震（南海トラフ大地震）に力点が置かれているが、単独で断層帯が動くことによる直下型地震、また、東海地震との連動の可能性についてのさらなる調査と対策が望まれる。</p> <p>以下質問する。</p> <p>(1) 富士川河口断層帯について、近年どのような調査がされ報告されているか。</p> <p>(2) 調査結果を市民にどのように周知し、どう対策をとっていくか。</p> <p>2. 同窓会開催への補助金交付について</p> <p>地元へのUターン就職促進や婚活支援を目的として、市民が開催する同窓会に対して自治体が補助金を交付し応援する事例が全国的にふえており、最近では富士宮市でも開始された。参加者1人につき1000円程度、上限金額を5万円程度とする自治体が多く、補助金制度があることで同窓会の開催がふえることが期待されている。同窓会の開催が、Uターン就職に結びつき定住者がふえたり、ふるさと納税寄付金の増加に結びついたりすれば、交付した補助金額以上の市への収入増も見込めるのではないだろうか。同窓会開催に対して補助金を交付する施策を検討してはどうか。</p> <p>3. ふるさと納税の取り組みについて</p> <p>ふるさと納税制度の浸透につれて、本市への寄付金はふえているものの、県内には数億円の寄付を記録している自治体も多数あり、後塵を拝している現状である。</p> <p>民間の企業経営においては、売上等の数字であらわれる結果を強く意識しながら、マーケティングを見直したり、競合他社との差異を分析したりという業務改善を短い間隔で繰り返すことはよく行われるが、ふるさと納税の寄付金増加に向けては、そういった結果への意識とたゆまぬ改善の努力が必要と考え、以下質問する。</p> <p>(1) 本市への寄付額の現状をどう捉えているか。</p> <p>(2) ふるさと納税の返礼品選定や広報戦略の計画・実施・評価・改善（PDCAサイクル）は、どの部署が責任を持ち、どの程度の期間で行われているか。</p> <p>(3) 今年度より開始される地方創生応援税制、いわゆる企業版ふるさと納税にどう取り組んでいくか。</p> | 市長 及び 担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|----------|---|------------------|
| 13 | 小池 義治（4） | <p>4. 富士市役所周辺地区の中心商業・業務地の土地利用について</p> <p>本市の都市計画において、富士市役所周辺地区の商業系用途地域は、「まちなか」として、「魅力的で利便性の高い商業・サービス施設の集積を図るとともに、“歩いて楽しい”商業・業務地の形成を図る」とされている。しかし現状では、数台から数十台の平置き駐車場を有した、いわゆるロードサイド型の小売店舗・飲食店が多く、店舗間の距離が離れた比較的低密度な市街地が広がっている。富士市役所周辺地区の中心商業・業務地の土地利用について、以下質問する。</p> <p>(1) 富士市役所周辺地区の商業系用途地域について、商業・サービス施設の集積をどのように図っていくか。</p> <p>(2) 本庁舎に勤務する市職員が交通安全会の名称で、市庁舎周辺に駐車場を借りているが、おおよそ何台で、どれほどの面積か。</p> <p>(3) 富士市役所周辺地区の店舗や事業所の利用者が使えるように、庁舎の近くに市営の立体駐車場を整備し、庁舎に勤務する市職員が定期券を一定数購入するなどして採算性を担保した上で、運営することはできないか。</p> | 市長 及び 担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|----------|---|-------------------------|
| 14 | 下田 良秀（6） | <p>1. 生涯にわたって健全な心身を培い、健康寿命を延伸し、豊かな人間性を育むための富士市における食育について</p> <p>食育とは生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むための重要なテーマであります。</p> <p>我が国においては若い世代に対する食育の必然性、世代構造の変化、子どもの貧困、新たな成長戦略における健康寿命の延伸、食品ロス低減、和食のユネスコ無形文化遺産登録決定、各地域における食育の課題などの食をめぐる状況の変化に対応するため、2016年3月18日に、第3次食育推進基本計画が決定されました。</p> <p>富士市においてもさらなる食育を推進するため、平成26年度から平成30年度までを計画期間とする富士市食育推進計画「第2次富士山おむすび計画」が策定されております。このように現在では食育の重要性はますます高まっています。</p> <p>そこで以下質問いたします。</p> <p>(1) 日本型食生活や食事バランス改善の現状と今後の課題について</p> <p>(2) 健康寿命の延伸を図るための成人及び子どもの生活習慣病予防、歯の健康に関する指導の現状と今後の課題について</p> <p>(3) 地産地消の推進や学校給食への地場製品の導入拡大状況について</p> <p>(4) 食品廃棄物の発生抑制や再生利用の現状と課題について</p> <p>(5) 富士市における食文化の特徴と伝承活動推進の現状と課題について</p> <p>(6) 子どもの貧困に対する子ども食堂等の取り組みについて</p> | 市長 及び 教育長 担当部長 |